

2014 年度 JAMS 会員総会議事録

事務局

2014 年 12 月 13 日(土)、東京大学本郷キャンパスにおいて 2014 年度日本マレーシア学会(JAMS)の会員総会が行われた。

【議長選出】

西芳実会員が議長に選出された。

【報告事項】

担当の各委員から活動内容に関する報告が行われた。

1. 事務局

山本運営委員長より、井上真委員が一身上の事情により 12 月 3 日付けで運営委員を辞任したことが報告された。

また、JAMS が参加している学会等の連合体に関して以下の報告があった。

(1)地域研究コンソーシアム(JCAS)の活動について。JAMS は幹事組織として JCAS の運営を担っており、現在の JCAS 会長は JAMS の宮崎恒二会長。JCAS は、次世代支援や学会連携などの公募プログラム、地域研究コンソーシアム賞の顕彰などを実施している。今年度の年次集会は 2014 年 11 月 30 日、12 月 1 日にアジア経済研究所で行われた。来年度は東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所で行われる予定。各種公募を含む JCAS の活動は、主要なものは事務局からも案内するが、各会員には JCAS ホームページまたは JCAS メールマガジンを参照していただきたい。

(2)地域研究学会連絡協議会(JCASA)の活動について。JCASA の加盟学会が支払う会費は 2 年間で 5000 円であり、JAMS は 2012 年度まで納

入済み。2014 年 11 月 29 日に総会が行われた。

総務

山本運営委員長より、今年度より会報は記事を随時学会 HP に掲載し、年度ごとに記事をまとめて号数を与える方法を取ることが報告された。これにともなって会員総会の議事録も学会 HP で公開されることになる。

会計

山本運営委員長の代読により、坪井祐司委員より配布資料をもとに 2014 年度の会計中間報告が行われた。

会員情報

篠崎香織委員より以下の報告がなされた。

(1)会員数

2014 年 12 月 9 日の時点で正会員数は 201 名であり、2013 年度の会員総会時から 1 名減った。賛助会員は、2014 年 6 月 1 日に NNA マレーシアが特別賛助会員として入会したことにより 1 組織となった。

(2)権利の停止および除籍

21 名の会員が権利の停止の対象者(2010 年度以降の会費滞納者)となっている。なお、2013 年度に発行予定だった会誌第 3 号の実際の発行が今年度になったため、今年度から権利の停止の対象となる会員については権利の停止の措置を猶予している。

(3)名簿の発行

2014 年 12 月に会員名簿を発行予定。

ウェブサイト

新井和広委員により今年度の活動について以下の 3 件の報告がなされた(山本運営委員長代読)。(1)各地区活動、関連研究会等のお知らせの

掲載を着実に続けている。(2)会報『JAMS News』の No.56、No.57(以上 2013 年度)をウェブサイトに掲載した。(3)「The Daily NNA マレーシア版」に毎月掲載されている「知識探訪」の記事を PDF ファイルでウェブサイトに再録し、今後も月一回の更新を予定している。

来年度の活動に関して、研究会等の情報の迅速な掲載、見やすいウェブサイト構築を行う。JAMS ウェブサイトに対するご意見やご要望があれば事務局までお寄せいただきたいとの呼びかけがなされた。

2. 研究連携ウイング

研究企画

吉村真子委員より以下の 2 件の報告がなされた。(1)在マレーシアの日本人学生から調査研究の支援の要請があり、助言を与えた。(2)在日マレーシア人留学生会の国際シンポジウムに吉村委員が企画やスピーカーについての助言・紹介・支援協力を行い、同シンポジウムに穴沢委員がスピーカーとして参加した。

地区活動

(1)関東地区

福島康博委員および砂井紫里委員から以下の報告がなされた(山本運営委員長代読)。(1)「会場:早稲田大学早稲田キャンパス、日時:毎月第三土曜日の午後」を原則としつつ、可能な限り柔軟に対応する方針で発表者の募集を行うとともに例会を開催した。(2)以下のように例会活動を行った(カッコ内は発表者名)。2014 年 7 月 12 日(Meghann Ormond)、7 月 19 日(左右田直規)。年度内は以下のように例会を開催予定。2015 年 2 月 28 日(福島康博、鈴木絢女、川端隆史、伊賀司ほか、ラウンドテーブル「マレーシア:2014 年の動静と 2015 年

の展望」(仮))。

(2)関西地区

多和田裕司委員より以下の報告がなされた。(1)今年度も例年と同様に 2 月ないし 3 月に研究会を開催すべく、現在発表者の人選等の準備を進めている。(2)来年度は、例年通り関西地区研究会を 1 回開催する。それ以外にも、会員(とくに若手研究者)から申し出があれば研究会を適宜アレンジする。

大会

山本博之委員より以下の 3 件が報告された。(1)2014 年 12 月 13 日(土)、14 日(日)に東京大学本郷キャンパスを会場として 2014 年度研究大会を開催する運びとなった。(2)当初は東京大学駒場キャンパスでの実施と案内していたが、諸般の事情により本郷キャンパスでの実施となった。(3)2014 年 6 月 30 日に個別研究報告とパネル企画を募集したところ、9 月 30 日の応募締め切りまでに 4 件の個別研究報告と 1 件のパネル企画(ラウンドテーブル)があり、すべて採択した。シンポジウムは大会委員により国際シンポジウム「現代マレーシアの舞台芸術と文化政策」を企画した。

連携研究会

山本運営委員長より、連携研究会は JAMS 会員が中心になって組織する研究活動であり、運営方針・予算に関して JAMS から独立して行うものであること、連携研究会の登録は一年ごととすること、また、過去 1 年間に活動が行われていない連携研究会は特に申し入れがある場合にのみ連携研究会を継続するなどが確認された。そのうえで、現在登録されている連携研究会の活動について以下のように報告があった。

・クアラルンプール地区研究会

特に報告する活動は行っていない。

・「ジャウィ文献と社会」研究会(坪井)

坪井会員より、下記 4 つの活動について報告された。(1)2014年7月3日、東京国際ブックフェアの企画の一部として東京ビッグサイトにて国際セミナー「From Tradition to Vision」を実施した。(2)8月18日、トレンガヌ大学にて行われた第9回国際マレーシア研究学会でパネル発表「Construction of Digital Archives of Jawi Periodicals for Contemporary Usage」を行った。(3)11月18日、マレーシア言語出版局にてセミナー「Pengarkiban Digital」を実施した。(4)2015年1月29日、30日に京都大学でジャウィ文献講読に関する一般公開セミナーを開催する予定。

・マレーシア映画文化研究会(篠崎)

篠崎会員より下記 5 つの活動について報告された。(1)2013年4月15日(土)、大阪アジア映画祭との共催で、大阪歴史博物館にてシンポジウム「高層化するアジアの想像力—『生きる』と『死ぬ』のほとりで」を実施した。(2)2014年8月4日～5日、京都大学芝蘭会館山内ホールにて、第5回ヤスマン・アフマド監督追悼京都マレーシア映画文化シンポジウム「親星子星一番星—よそ者どうしが織りなす家族の物語」を開催した。(3)9月10日、京都大学稲盛財団記念館にて、京都シネアドボ・ワークショップ「越境する危機と分かち合う記憶—東南アジアを襲う不況・台風・爆弾テロ」を開催した。(4)9月15日、キャナルシティ博多貸会議室にて、九州シネアドボ・ワークショップ「映画『ジャングル・スクール』が拓くフロンティア—シネマと地域研究のマリアージュ」を開催した。(5)日本語字幕付きでマレーシア映画の上映を行った。11月2日(国際協力サロニーTogether および青年海外協力隊マレーシア会、『ムクシン』)。

4. 社会連携ウイング

山本運営委員長より、JAMSの社会連携活動について以下の報告がなされた。

・「知識探訪」

マレーシアで発行されている邦字紙『NNA マレーシア』に本学会の会員がコラム「知識探訪」を毎月掲載している。執筆者は会員の自薦による。積極的な応募を期待する。

・マレーシア事情の講師紹介

全国市町村国際文化研修所が行う「地域間交流促進プログラム(マレーシア)」に対する講師紹介の要請があり、JAMSより講師を紹介した。

・マレーシア国立博物館への講師紹介

マレーシア国立博物館の日本語ボランティアガイド・グループが行っているマレーシア事情研修に対してJAMS会員を講師として紹介している。8月22日、25日、29日に研修が行われた。

5. 会誌編集委員会

金子芳樹編集副編集委員長より、会誌『マレーシア研究』について以下の3件の報告がなされた。

(1)第3号を2014年10月30日付けで発行し、会員に送付した。(2)第4号については、2014年12月31日を締め切りとして投稿(論説、研究ノート、書評論文、書評)を募集している。(3)井上真委員の辞任に伴い、審議事項で事務局・会計担当の運営委員の任命が承認された場合、坪井祐司委員を本日付けで会誌編集委員とする。

6. その他

山本運営委員長より、2014年7月の東京国際ブックフェアを契機にマレーシア政府観光局マーケティング・マネジャーの徳永誠氏との間で政府観光局とJAMSの連携の可能性について意見交換

を行ったこと、今年度は具体的な連携事業を予定していないが、引き続き連携の可能性の検討を続けたいことが報告された。

【審議事項】

1. 2013年度の会計報告について

坪井委員より、配布資料に基づいて2013年度の会計報告がなされ(山本運営委員長代読)、宮崎恒二監査より監査結果が報告され、いずれも承認された。

2. 運営委員の任命について

山本運営委員長より、光成歩会員を運営委員に任命することが提案され、承認された。担当は会計。任期は本日から2016年3月31日まで。なお、こ

れに伴って坪井委員は本日付で会計から会誌編集に担当が変更となる。

3. 2015年度の研究大会について

舛谷委員より、2015年度の研究大会は2015年12月12日(土)、13日(日)に立教大学新座キャンパスで行うこと、自由研究発表と企画シンポジウムを行い、自由研究発表の報告者は2015年度に入ってから募集することが提案され、承認された。

4. 2015年度の予算案について

光成委員より、配布資料にもとづき2015年度予算案が提示され、承認された。

以上